

# コンビ カルピコCX DL-479 DL-439 カルピコ-A DL-399

## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、本書は大切に保管してください。

取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡しください。



イラストはカルピコ-A DL-399



安全基準A型  
(2カ月～2才まで)

目次	●ご使用前に.....1	●足カバー(カルピコCX DL-479)の使い方.....9
	●安全にお使いいただくために.....1~3	●フロントカバー(カルピコCX DL-479以外)の使い方.....9
	▲警告	●シートベルトの使い方(股ベルト・腰ベルトの調整).....9
	▲注意	●シート及び衝撃吸収マットの取り扱い方.....10
	●各部のなまえ.....4	●日除けの使い方.....10
	●手元ロックボタンについて.....5	●買い物カゴの使い方.....11
	●開き方.....5	●折りたたみ方.....12
	●リクライニングの使い方.....6	●日常のお手入れ.....12~13
	●アームレストカバーの使い方.....6	●保管のしかた.....13
	●ハンドルの切り替え方.....7	●アフターサービスについて.....13
	●キャストの使い方.....7	●品質保証書.....14
	●ストッパーの使い方.....7	●SGマークの被害者救済制度.....14
	●フロントガードの使い方.....8	●オプション品(別売)
	●足のせの使い方.....8	

このたびは、コンビ製品をお求めいただき、ありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

## ご使用の前に

この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買物等に使用するための一人乗り乳母車（ベビーカー）です。

対象年齢：生後2ヵ月以上 満2才まで  
望ましい連続使用時間：2時間以内

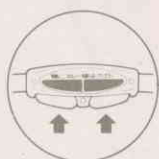
## 安全にお使いいただくために



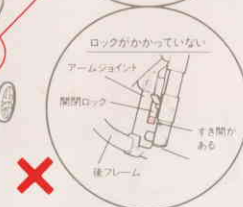
警告

取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。

乳幼児が落ちたり、ベビーカーが折りたたまれる恐れがあります。



同時に握らない



- 開閉構造やハンドル切り替えのロックが確実にかかっていること（完全に開いた状態であるか）を確認してから使用してください。同時に二つのレバーを握らないでください。

- 乳幼児を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりする恐れがあります。



- 階段・エスカレーター・段差等のあるところでは使用しないでください。砂場、砂浜、河原、ぬかるみ等の悪路では使用しないでください。



- 破損・異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。そのまま使用しますと重大な事故につながる恐れがあります。当社のお客様相談室にご連絡ください。

乳幼児が落ちる恐れがあります。



● 股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。



● 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

ベビーカーが転倒して乳幼児が落ちる恐れがあります。



● ベビーカーに同時に二人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外のところに乗せないでください。



● 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。



● ご使用中にハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。



● 乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。



● ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



● 乳幼児を乗せたままベビーカーから離れないでください。

# 安全にお使いいただくために

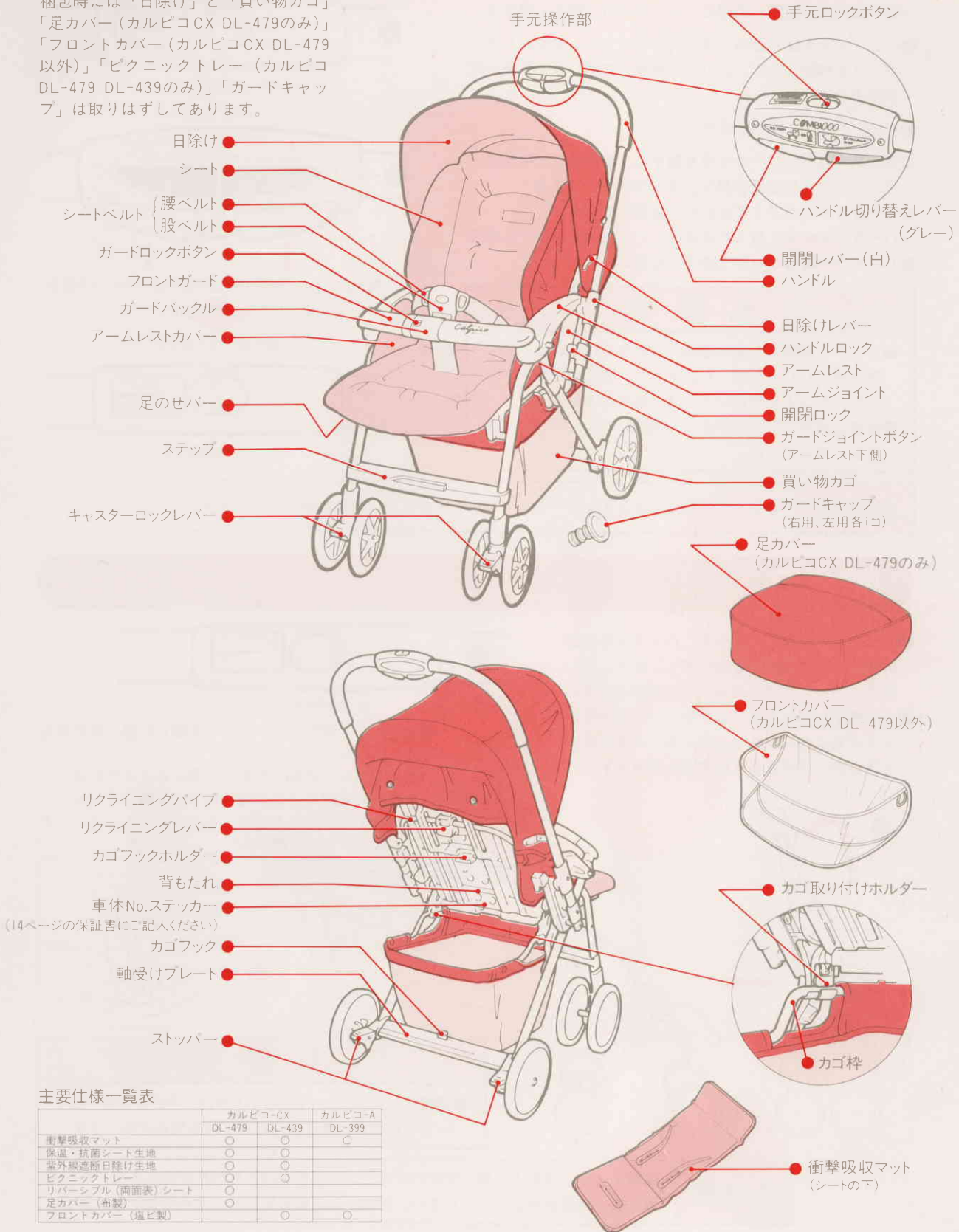
**⚠ 注意** 取り扱いを誤ると、傷害を負ったり、ベビーカーが破損する恐れがあります。

- シートやアームレストカバーを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。  
すき間に手や足等をはさむ恐れがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。  
転倒や思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には他人に触れさせないでください。  
指をはさんだりする恐れがあります。
- 空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。  
ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下する恐れがあります。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。  
目的外の使用では破損等の恐れがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度な荷重を加えないでください。  
破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。  
走るとキャスターの動きが悪くなったり、事故につながる恐れがあります。
- 買い物カゴには5 kg以上の荷物を入れしないでください。  
破損の原因となります。
- 踏切りを渡るときはできるだけ線路に直角に進んでください。  
ななめに渡ると車輪をとられたり、線路の溝に車輪がはさまる恐れがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。  
ベビーカーだけでなく保護者も転倒する恐れがあります。
- 風の強いときは使用しないでください。  
勝手に動き出したり、転倒する恐れがあります。
- 雷のときは使用しないでください。  
落雷の恐れがあります。
- 火の近くや、高温になる場所での放置、保管はさけてください。  
故障、変形の原因となります。
- 荷物等を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。  
故障や変形の原因となります。
- 危険ですからむやみに改造、分解をしないでください。
- ご使用の前に、ネジやナットがゆるんでないかチェックしてください。



# 各部のなまえ

梱包時には「日除け」と「買い物カゴ」  
「足カバー（カルビコCX DL-479のみ）」  
「フロントカバー（カルビコCX DL-479  
以外）」「ピクニックトレイ（カルビコ  
DL-479 DL-439のみ）」「ガードキャッ  
プ」は取りはずしてあります。



主要仕様一覧表

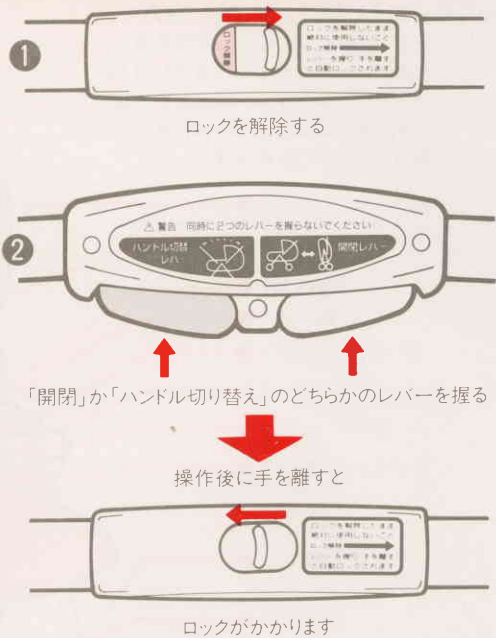
	カルビコ-CX		カルビコ-A
	DL-479	DL-439	DL-399
衝撃吸収マット	○	○	○
保温・抗菌シート生地	○	○	○
紫外線遮断日除け生地	○	○	○
ピクニックトレイ	○	○	○
リバーシブル(両面表)シート	○	○	○
足カバー(布製)	○	○	○
フロントカバー(塩ビ製)	○	○	○

# 手元ロックボタンについて

ベビーカーの「開閉」操作と「ハンドル切り替え」操作は、

- ①ハンドル中央部上面の「手元ロックボタン」をずらして、ロックを解除します。（「ロック解除」の赤いステッカーが表示されます。）
- ②レバーを握って操作します。

操作が終わり、レバーから手を離すと、自動的に「手元ロックボタン」が元の位置に戻り、ロックがかかります。ロックがかかったままではレバーは握れません。レバーをまちがえて握ったときは、いったんレバーから手を離し、もう一度①からはじめてください。



## 警告

- ロックを解除したまま使用しないでください。無意識にレバーを握ったときなど、急に折りたたまれたり、ハンドルが動いてしまう恐れがあります。
- 転倒の原因となりますから、同時に二つのレバーを握らないでください。

## 注意

- ロックがかかったままレバーを握らないでください。故障の原因となります。

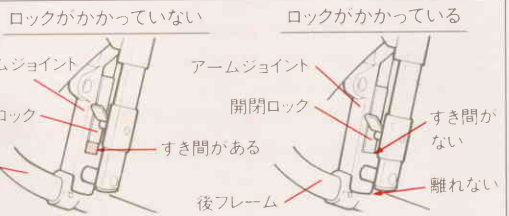
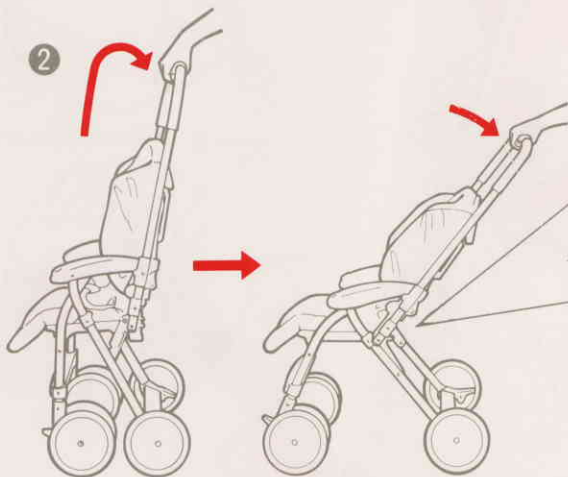
# 開き方

- ①ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらします。赤いステッカーが表示されロックが解除されます。
- ②白い開閉レバーを握りながら、ハンドルを持ち上げるようにするか、アームレストの先端を下に押し下げると開きます。



開き終わって開閉レバーから手を離れた後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右の開閉ロックが完全に下まで降りている。
- ハンドルを持ち上げたときに、アームジョイントと後フレームが離れない。



## 警告

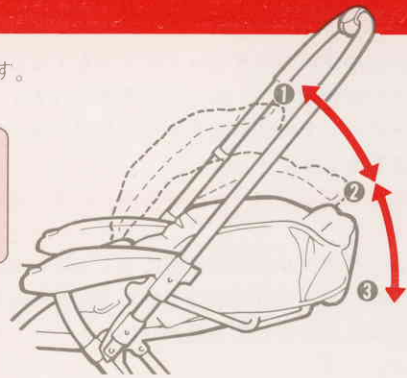
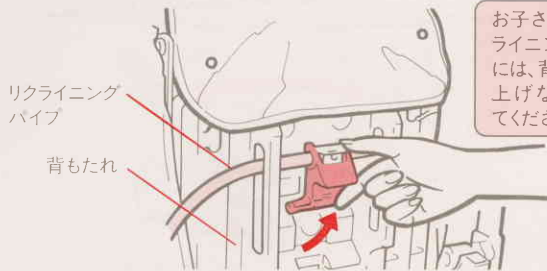
- 開閉ロックがかかっていないときは、そのまま使用しないでください。急に折りたたまれる恐れがあります。

## 注意

- 開くときには他人に触らせないでください。手をはさむ恐れがあります。
- 子供に操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

# リクライニングの使い方

リクライニングレバーを指で起こしながら、背もたれの角度を変えます。  
角度調節は3段階です。



お子さまを乗せてリクライニング操作をするときは、できるだけゆっくり静かに行ってください。  
特に背もたれを倒すときには、急に角度が変わらないように十分ご注意ください。

## ⚠ 注意

- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。
- リクライニングパイプと背もたれの間に指をはさまないように十分ご注意ください。

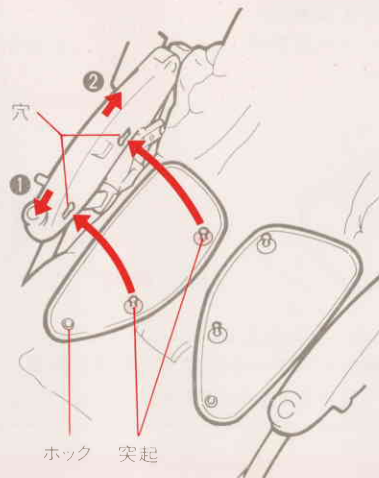
# アームレストカバーの使い方

アームレストカバーは必ず取り付けてご使用ください。

## 取り付け方

背もたれをいちばん倒した角度にします。  
アームレストカバーの左右を確認し、

- ①前側の「突起」をアームレスト前側の穴に差し込み、前方にずらします。
- ②次にアームレストカバーを少し内側に反らし気味にして、後側の「突起」をアームレスト後側の穴に差し込み、後方にずらして取り付けます。



ゆっくり背もたれを上げ、背もたれの側面に引っかからないか確認してください。

## 取りはずし方

アームレストカバーの先端を持ち、後方へずらして前側の「突起」を穴からはずします。  
次に、前にずらして後側の「突起」を穴からはずします。

## ⚠ 注意

- アームレストカバーを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したアームレストカバーはそのまま使用しないでください。中のウレタンをお子さまが飲み込む恐れがあります。

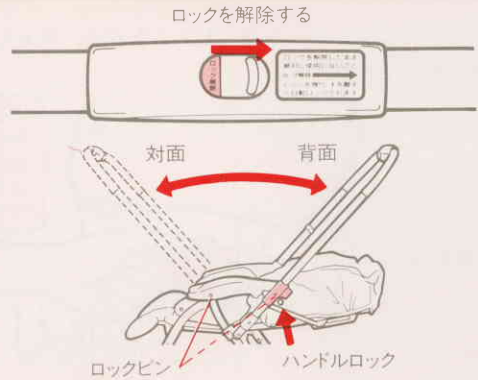


# ハンドルの切り替え方

- ① ハンドル中央部の手元ロックボタンをずらしします。赤いステッカーが表示され、ロックが解除されます。
- ② グレーのハンドル切り替えレバーを握りながら、ハンドルの向きをかえます。

ハンドル切り替えレバーから手を離した後、次の点を確認してください。

- 手元ロックボタンが元の位置にもどっている。
- 左右のハンドルロックがロックピンにかかっている。
- ハンドルを上下させても動かない。



## 注意

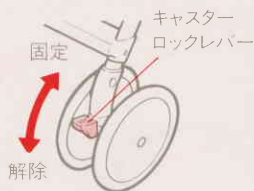
- 手元ロックボタンとハンドルロックがかかっていないときはそのまま使用しないでください。急にハンドルが切り替わる恐れがあります。
- 危険ですからお子さまの手や指をはさまないよう十分ご注意ください。
- 危険ですからベビーカーを押しながら操作しないでください。

# キャストターの使い方

平たんな路面を押すとき、前輪の向きが変わり、方向転換がしやすくなります。

〔キャストターを使用する場合〕

キャストターロックレバーを下げ、ロックを解除します。



〔キャストターを使用しない場合〕

坂道や凸凹のある路面を押すときは、キャストターを固定します。



左右のキャストターロックレバーを上げて固定します。固定する車輪位置は対面と背面では違います。ご注意ください。ベビーカーを折りたたむときは、左のイラストの位置で固定してください。



## 注意

- キャスターを固定する位置を間違えて使用すると、押しづらだけでなく故障の原因となります。必ず正しい位置で固定してください。

# ストッパーの使い方

- 左右の後輪の内側にあるストッパーを下げるとストッパーのロックがかかります。ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーが正しくかかっているか確認してください。
- 解除するときはストッパーを上げてください。



## 警告

- お子さまや荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけても動き出したり、転倒する恐れがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

## 注意

- 空車であってもベビーカーから離れるときは、必ず左右ともストッパーをかけてください。ストッパーが不完全ですと動き出すことがあります。

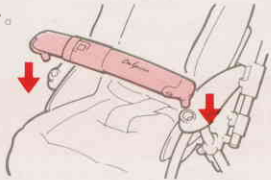


# フロントガードの使い方

フロントガードを開くとお子さまの足が引っかからず、乗せ降ろしが楽にできます。

## 〔ベビーカーへの取り付け方〕

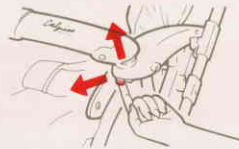
フロントガードの左右を確かめて（正面から見て文字が右側になるように）アームレスト上面前端の穴に差し込みます。確実に固定されたか、引っぱって確認してください。



正面から見て「Calpico」の文字が右側になるように。

## 〔ベビーカーからの取りはずし方〕

アームレスト前端下側のガードジョイントボタンを指で前方に引っぱりながら、フロントガードを片側ずつ上に引き抜いてください。お子さまのためフロントガードはなるべく取り付けてご使用ください。はずしてご使用になる場合は必ず付属のガードキャップでフタをしてください。（赤いステッカーの貼ってある方が正面から見て右用です。）



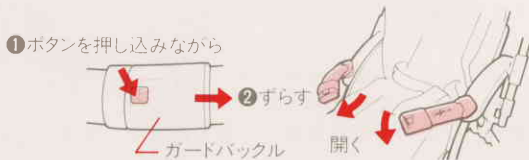
- フロントガードに関係なくお子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードは抜け出しや立ち上りを防ぐものではありません。
- ガードキャップは、お子さまが飲み込まないように十分に注意してください。窒息などの危険があります。



- フロントガード、ガードキャップが確実に取り付けられたか必ず確認してください。取り付けが不完全ですと、お子さまがアームレスト上面前端の穴に指を入れ、ケガをする恐れがあります。
- フロントガード、ガードキャップは左右を間違えると取り付けられない構造になっています。破損の原因となりますから無理に押し込まないでください。

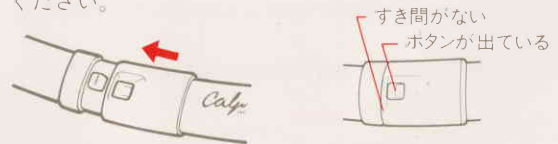
## 〔フロントガードの開き方〕

①ガードバックルの四角い窓の中のガードロックボタンを押し込みながら、②ガードバックルをずらせば開きます。ガードロックボタンの押し込み方が不十分ですとガードバックルがずらせませんのでご注意ください。



## 〔フロントガードの閉じ方〕

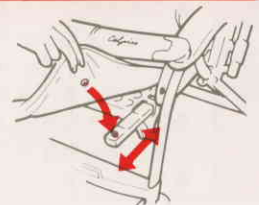
フロントガードを合わせ、ガードバックルをずらしロックします。確実にロックされているか（四角い窓にガードロックボタンが出ていること、バックル間にすき間がないこと）を必ずバックルを左右に引っぱって確認してください。



- お子さまの乗せおろし時以外は、必ずフロントガードは閉じてください。すき間に手を入れると危険です。また、破損の原因ともなります。
- フロントガードが確実にロックされたか必ず確認してください。ロックが不完全ですと使用中に開いてしまう恐れがあります。
- フロントガードをつかんで持ち運ぶことは、お子さまを乗せているときはもちろん、空車のときであっても避けてください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりすると危険です。

# 足のせの使い方

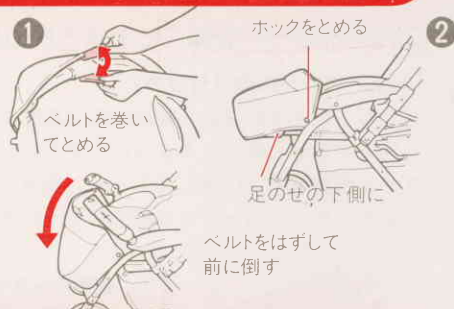
足のせを出していると、お子さまが寝たとき、楽な姿勢で眠れます。使用するときには、シートを持ち上げ、座面にある足のセバーを前端で止まるまで引き出します。シートをのせ必ずホックをとめます。使用しないときは、シートのホックをはずし、足のセバーを座面の中に押し込みます。



## 足カバー(カルピコCX DL-479)の使い方

まず、足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。

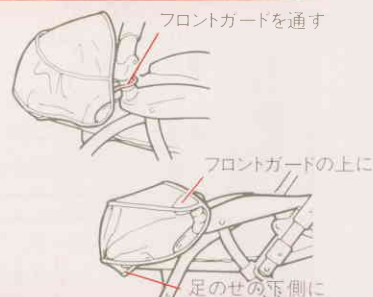
- ① 足カバー上面の裏側に付いている長いほうのベルトをフロントガードの下側から巻き付け、マジックテープでとめてください。
  - ② 足カバー両側面のホックとアームレストカバーのホックをとめてください。足カバーの底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットしてください。
- 乗せおろしの際は上面のベルトをはずせばフロントガードを開くことができます。



## フロントカバー(カルピコCX DL-479以外)の使い方

まず、足のせを引き出し、シートのホックをとめてください。

- ① フロントガードを開き、フロントカバーのゴムベルトに通します。ゴムベルトはフロントガードの付け根のくびれた部分にかけます。
  - ② フロントガードを閉じて、フロントカバーの上面をフロントガードにかぶせます。底面は使用時は常に足のせの下側になるようセットしてください。
- 材質の特性上フロントガードや日除けの色が移ることがあります。
  - フロントカバーは足カバーのように前に倒すことはできません。
  - フロントカバーの代わりに別売の「足カバーD-1型」を取り付けることもできます。



## シートベルトの使い方(股ベルト・腰ベルトの調整)

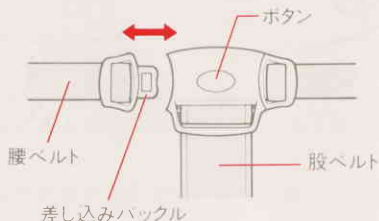
ここでは、股ベルトと腰ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。

また、シートベルトを締めていても、万一の抜け出し、立ち上りに対しては十分注意してください。

図の○部のボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずせます。シートベルトを締めるときは股ベルトのバックルに左右の差し込みバックルを確実に差し込んでください。

腰ベルトを引っばってはずれないか確認してください。



股ベルト、腰ベルトの長さは、お子さまの成長に合わせて調整できます。腰ベルトは右図のように背もたれのベルト穴位置の上下を選べます。調整や洗濯で差し込みバックルや股ベルトを取りはずした場合は、下図のとおり確実に取り付けてください。



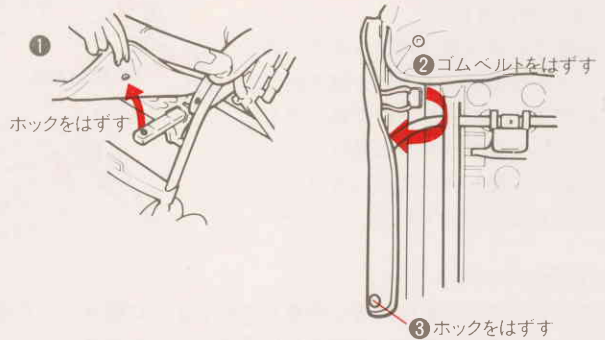
**警告**

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せるとお子さまが落ちる恐れがあります。
- できるだけたるみを取って、しっかりと締めてください。たるみが多いとお子さまが抜け出したり立ち上ったりする恐れがあります。
- 腰ベルト、差し込みバックル、股ベルトは確実に取り付けてください。取り付けが不完全ですと使用中にはずれてお子さまが落ちる恐れがあります。
- 腰ベルトは先端まで3cm以上、股ベルトは先端まで5cm以上残してください。先端までの長さが短いと使用中にはずれてお子さまが落ちる恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したベルトは、そのまま使用しないでください。使用中にお子さまが落ちる恐れがあります。

# シート及び衝撃吸収マットの取り扱い方

## 〔シート及び衝撃吸収マットの取りはずし方〕

- ①まず、足のせを使っているときには、シート前端のフックをはずしておきます。
- ②次に、背もたれ裏側左右のフックにかけてあるゴムベルトをはずします。
- ③両側面のフックをはずします。
- ④シートベルトをベルト通し穴から抜き取ればシートは取りはずせます。バックルやフックが通し穴に引っかかることがありますから、丁寧に扱ってください。
- ⑤衝撃吸収マットはシートベルトを抜き取れば、はずせます。



## 〔シート及び衝撃吸収マットの取り付け方〕

基本的には取りはずし方の逆の手順です。

背もたれをいちばん倒して、衝撃吸収マットを載せ、腰ベルトと股ベルトを通します。次にシートを載せ、腰ベルトと股ベルトを通します。次に両側面のフックをとめ、背もたれを起し、ゴムベルトを裏側のフックにかけます。シートは洗濯機で丸洗いができます。洗濯方法は13ページをご覧ください。

衝撃吸収マットは取り付けなくてもご使用になれますが、シートは必ず取り付けてご使用ください。衝撃吸収マットは必ずシートの下に敷いてください。



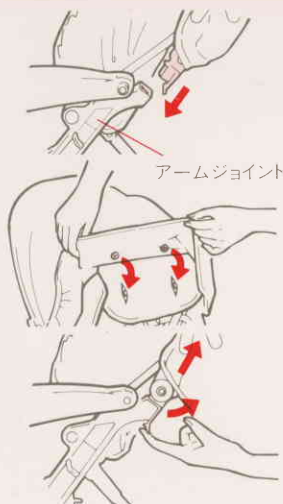
## 注意

- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能がはたせなくなる恐れがあります。
- シートを取り付ける際に、ゴムベルト、フック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全だとケガややぶれ等の原因となります。

# 日除けの使い方

## 〔取り付け方〕

日除けの差し込み部分を、アームジョイント上部の穴に差し込みます。ツメがかかって固定されます。後ろのフック2個を背もたれ後部の生地のスリット(穴)を通してとめます。

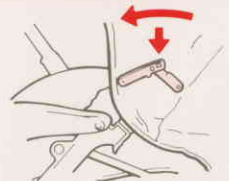


## 〔取りはずし方〕

後ろのフックをはずし、差し込み部分の、ツメを指ではずしながら、引き抜きます。

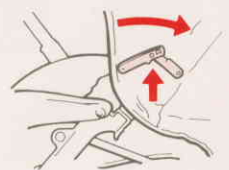
## 〔ひろげ方〕

2本のステー(中骨)を持ってひろげ、左右の日除けレバーの関節部を押し下げロックします。



## 〔たたみ方〕

日除けレバーの関節部を下から押し上げてから、たたみます。

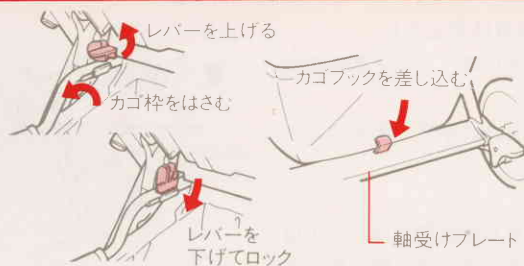


- 日除けは一番前までは倒れません。無理に倒すとはずれたり、やぶれたりする恐れがあります。

# 買い物カゴの使い方

## 〔取り付け方〕

座面下のカゴ取り付けホルダーのレバーを上げ、カゴ枠をはさみこんだ後、レバーを下げてロックします。カゴフックを軸受けプレートに差し込みます。(カゴフックのある側が後です。)



## 〔取りはずし方〕

取り付け方の逆の手順です。

荷物を入れて持ち運ぶときは、カゴ枠を持ってください。折りたたむときはカゴフックを背もたれのカゴフックホルダーにかけてください。

## 〔荷物について〕

できるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

リクライニング操作に支障のない高さにしてください。

ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になりますから、折りたたむときには荷物を取り出すか、買い物カゴごと取りはずしてください。

## ⚠ 注意

- 5 kg以上の荷物は載せないでください。破損の原因となります。
- 角のとがった物は載せないでください。やぶれの原因となります。



# 折りたたみ方

折りたたむ前に下記の操作を行なってください。

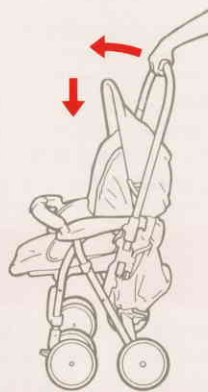
- ① ハンドルを背面位置にしてください。  
(7ページをご参照ください)
- ② キャスターを背面で使用する位置で固定してください。  
(7ページをご参照ください)
- ③ 背もたれをいちばん起こした位置にします。  
(6ページをご参照ください)
- ④ 買い物カゴのカゴフックを背もたれのカゴフックホルダーにかけます。
- ⑤ 日除けをたたみます。  
(10ページをご参照ください)
- ⑥ シートベルトのバックルをとめてください。  
(9ページをご参照ください)
- ⑦ フロントガードを閉じてください。  
(8ページをご参照ください)



まず、ベビーカーの後ろに立って、ハンドル中央部の手元ロックボタンを右にずらしします。赤いステッカーが表示されます。



次に白い開閉レバーを握り、ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、前輪を支点にして矢印の方向に力を加えると折りたためます。



スムーズに折りたためないときは、車体にシートやシートベルト等がはさみ込まれていることが考えられます。無理に力を加えず、いったん開き、はさみ込んでいる物はずしてください。開閉レバーから手を離れた後、手元ロックボタンが元の位置に戻っているか、確認してください。さらに開閉ロックが確実にかかっているか(開かない状態になっているか)をハンドルを持ち上げて確認してください。

## 注意

- 手元ロックボタンと開閉ロックがかかっていないときはそのまま持ち運ばないでください。急に開いてしまう恐れがあります。
- ひっかかりや、はさみ込み等を感じたら、いったん開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損する恐れがあります。

# 日常のお手入れ

[車体の清掃について]

- 車輪やプラスチック部品及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布で数回ふき取り、洗剤分が残らないようにします。

## 注意

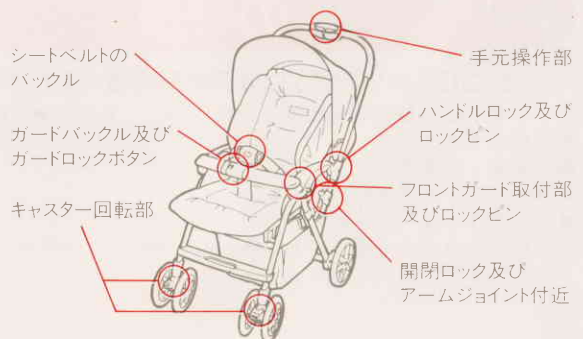
- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

[注油について]

きしみ音が発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を少量お使いください。多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。注油箇所の泥や汚れはあらかじめよくふき取ってください。なお、右のイラストの箇所には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

## 注意

- お子さまがなめる可能性の高いフロントガード、アームレスト等には油が付着しないようご注意ください。



# 日常のお手入れ

## 〔縫製品の洗濯について〕

### ●シートの洗濯

シートは洗濯機で丸洗いができますが、以下の点にご注意ください。取りはずし方は9、10ページをご覧ください。

- 40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
  - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
  - 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
  - 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
  - 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- ### ●日除け、アームレストカバー、股ベルト、腰ベルト、足カバー（カルピコCX DL-479のみ）の洗濯
- 40℃以下の液温で、ブラシ又はスポンジにて軽く洗ってください。
  - 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。使用する洗剤の注意書きもよくお読みください。
  - よくすすいだ後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

※製品の特性上若干色あせすることがあります。

※洗濯の際は天然脂肪酸をベースとした蛍光剤・漂白剤・酵素などを含まない「コンビ おむつ・肌着洗い」をおすすめします。また、快適にお使いいただくためにひんばんに洗濯することをおすすめします。

### ●衝撃吸収マットの洗濯

衝撃吸収マットはシート洗濯のときなどに陰干しして乾燥させてください。

洗う必要があるときには、通常の洗濯用洗剤を使用してください。

手で押し洗いをして、軽く脱水するか、乾いたタオル等で水分を取った後、日陰で平干しをしてください。

もみ洗いや、きつく絞ったりしないでください。また、乾燥機の使用やドライクリーニングはさけてください。

## 〔点検について〕

ネジ類のゆるみ、部品の欠損及び作動不良等の異常がないか適時点検してください。



●車体の破損、異常やシート及びシートベルトにやぶれ、ほつれ等が発生した場合は、ただちに使用を中止して必ず当社サービスマンの点検、修理を受けてください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。



●危険ですからむやみに改造や分解はしないでください。  
●お手入れの際に取りはずした部品は、本書をよく読み正しく取り付けてください。取りはずしたままですとお子さまが危険です。

# 保管のしかた

- 直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。
- 車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にしてねかせてください。



●火の近くや夏期の車内等高温になる場所での保管はさけてください。故障や変形の原因となります。  
●荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

# アフターサービスについて

- 破損・異常が発生した場合は、分解など自分で修理せず、必ず修理を受けてください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。当社のお客様相談室にご連絡ください。
- 修理/部品販売の際は、まったく同じ部品がない場合があり、色や仕様が若干異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

# CHITOPOLY®の特長

キトポリイ

「カルピコCXシリーズ」には天然系繊維〈キトポリイ〉を使用しています。

キトポリイは、植物性繊維ポリノジックに、カニやエビなどからとれる天然の保湿・抗菌成分キトサンを練り込んだ天然系繊維です。

- 低刺激・保湿性  
刺激が少なく保湿性があります。
- キトポリイは「カルピコCXシリーズ」のシート・アームレストカバー・股ベルト・腰ベルトカバーに使用されています。

- 抗菌性  
優れた抗菌性が、汗などによる繊維上の雑菌の繁殖を抑えます。  
※CHITOPOLY®は富士紡績株式会社により開発された繊維素材です。